

- 【No.1】法人税の確定申告書には、次の書類を添付していますか。
- (1) 外国法人の貸借対照表、損益計算書（販売費及び一般管理費の内訳書を含みます。）
 - (2) 株主資本等変動計算書等（株主資本等変動計算書、社員資本等変動計算書又は損益金の処分表）
 - (3) 勘定科目内訳明細書（国内源泉所得に係る所得金額の計算に係る部分に限ります。）
 - (4) 組織再編成に係る契約書等の写し（組織再編成が行われた場合）
 - (5) 組織再編成に係る主要な事項の明細書（組織再編成が行われた場合）
 - (6) 国内源泉所得に係る事業又は資産に係る貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの書類に係る勘定科目内訳明細書
 - (7) 会社事業概況書（完全支配関係がある法人との関係を系統的に示した図を含みます。なお、税務署所管法人用の法人事業概況説明書とは異なります。）
 - (8) 國際運輸業所得に係る国内において行う業務につき生ずべき所得の額及びその計算の基礎その他参考となるべき事項を記載した明細書（恒久的施設を有する外国法人が国際運輸業所得を有する場合）
 - (9) 適用額明細書（法人税関係特別措置のうち、税額又は所得の金額を減少させる規定等の適用を受けようとする場合）（租特透明化法第3条）

令和6年4月1日以後開始事業年度等分
外国法人用

この申告書による法人税額の計算等	恒久的施設帰属所得に係る所得の金額に係る法人税額の計算等	中間申告分の税額	税額
	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9
	10	11	12
	13	14	15
	16	17	18
	19	20	21
	22	23	24
	25	26	27
	28	29	30
	31	32	33
	34	35	36
	37	38	39
	40	41	

事業種目	青色申告	連番号
未提示の資本金のうち出資金の額	円	
以上が1種以上以下の登録法人のうち	支店等の登録場所	改訂番号
司非	有	無
日法人税	長財簿設立年月日	代理入社の理由
恒久的施設の有無及びその種類	支店等の登録場所	開設年月日
未付書類	税額控除書又は損益金処分表、勘定科目内訳明細書、契約書等の写し、組織再編成に係る税額控除書等の明細書	法人税
度分の法人税	申告書	適用額明細書提出の有無
度分の地方法人税	申告書	有無
申告の場合	令和年月日	税理士の名前
算期間	令和年月日	印

別表一の二 各事業年度の所得に係る申告書—外国法人の分

令六・四・一以後終了事業年度等分

外

外

外

【No.5】恒久的施設帰属所得とその他の国内源泉所得を区分して所得金額を計算していますか。
また、欠損金についても、同様に区分してそれぞれの所得金額から控除していますか。

【No.7】27欄及び39欄に、中間申告分の税額を正しく記載していますか。

【No.6】9欄又は19欄は、100円未満の額を切り捨てていませんか（1円単位まで記載します。）。

【No.4】「別表一の二」を使用していますか。

【No.4】「恒久的施設の有無及びその種類」の欄の記載漏れはありませんか。

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.8】地方法人税額の計算につき、別表一の二次葉の62欄及び63欄により計算していますか。

【No.8】37欄の金額は、別表六の二の47欄の金額と一致していますか。

税理士署名

		事業年度等	:	:	法人名			別表一の二次葉
法人税額の計算								令六・四・一以後終了事業年度等分
恒久的施設帰属所得に係る所得の金額に係る法人税額の計算等	(1) のうち中小法人等の年800万円相当額以下の金額((1)と800万円× $\frac{1}{12}$ のうち少ない金額)	43	000	その他他の国内源泉所得に係る法人税額の計算等	(12) のうち中小法人等の年800万円相当額以下の金額((12)と800万円× $\frac{1}{12}$ のうち少ない金額)	52	000	
	その他の所得金額(1)-(43)	44	000		その他の所得金額(12)-(52)	53	000	
	(43)の15%又は19%相当額	45			(52)の15%又は19%相当額	54		
	(44)の23.2%相当額	46			(53)の23.2%相当額	55		

【No.10】当事業年度終了の時における資本金の額若しくは出資金の額が1億円超の外国法人である場合又は一若しくは完全支配関係のある複数の大法人に発行済株式等の全部を保有されている外国法人等である場合、年800万円以下の所得について、軽減税率を適用していませんか。

また、適用除外事業者に該当する場合、年800万円以下の所得について、措法上の軽減税率(15%)を適用していませんか。

法人税額の計算等	法人税額から控除した金額(8)	50		税額の計算等	その他の国内源泉所得に係る法人税額から控除しきれなかった金額(56)-(57)	58		
	恒久的施設帰属所得に係る法人税額から控除しきれなかった金額(49)-(50)	51						

この申告が修正申告である場

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

この申告前の法人税額	59		この申告により納付すべき地方法人税額又は減少する還付請求税額((28)-(59))若しくは((28)+(60))	61	00	
	外					

【No.8】地方法人税額の計算につき、62欄及び63欄により計算していますか。

地方法人税額の計算

課税標準法人税額(34)	62	000	(62)の10.3%相当額	63		
--------------	----	-----	---------------	----	--	--

この申告が修正申告である場合の計算

この申告前の確定地方法人税額	64		この申告前の欠損金の繰戻しによる還付金額	66		
			この申告により納付すべき地方法人税額((40)-(64))若しくは((40)+(65)+(66))又は(((65)-(41))+((66)-(41)の外書)))	67	00	

【No.58】加減算項目中、消費税法上課税取引となるものについて、消費税及び地方消費税の申告書において調整を行っていますか。

令和6年4月1日以後開始事業年度等分
外国法人用

所得の金額の計算に関する明細書

御
注意

「52」の「①」欄の金額は、「②」欄の金額に「③」欄の本書の金額を加算し、

区分		総
当期利益又は当期欠損の額	1	
損金経理をした法人税及び地方法人税(附帯税を除く。)	2	
損金経理をした道府県民税及び市町村民税	3	
損金経理をした附帯税(利子税を除く。)、加算金、延滞金(延納分を除く。)及び過怠税	5	
減価償却の償却超過額	6	
役員給与の損金不算入額	7	
交際費等の損金不算入額	8	
通算法人に係る加算額 (別表四付表[5])	9	
○ ○ ○	10	
小計	11	
減価償却超過額の当期認容額	12	
納税充当金から支出した事業税等の金額	13	
受取配当等の益金不算入額 (別表八(一)[5])	14	
外国子会社から受ける剰余金の配当等の益金不算入額 (別表八(二)[26])	15	
受贈益の益金不算入額	16	
適格現物分配に係る益金不算入額	17	
法人税等の中間納付額及び過誤納に係る還付金額	18	
所得税額等及び欠損金の繰戻しによる還付金額等	19	
通算法人に係る減算額 (別表四付表[10])	20	
○ ○ ○	21	
小計	22	
仮計 (1)+(11)-(22)	23	
	24	
	25	△
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
	31	
	32	
	33	
	34	その他
	35	その他
	36	△
	37	
	38	
	39	外※
	40	△
	41	
	42	
	43	外※
	44	△
	45	外※
	46	△
	47	△
	48	△
	49	△
	50	
	51	△
所得金額又は欠損金額	52	外※

【No.12】前事業年度以前に所得金額に加算した有価証券若しくはゴルフ会員権等の評価損又は減損損失の額について、当事業年度に売却等の減算事由が生じたものを減算していますか。

【No.17】別表五(二)の「その他」の③欄に表示している充当金の取崩し又は④欄に表示している仮払経理により納付した源泉所得税又は外国法人税等の額を減算していますか。

【No.14】別表五(二)の5、10、15及び24～29の⑤欄でプラス表示している金額を2欄、3欄及び5欄で加算していますか。

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.16】別表五(二)の19の③欄及び④欄でマイナス表示している還付事業税等の額を加算していますか。

【No.46】損益計算書の有価証券若しくはゴルフ会員権等の評価損又は減損損失の額のうち、税務上損金の額に算入されない金額を加算していますか。

【No.47】損金の額に算入されない租税公課、罰科金等の額を加算していますか。

【No.16】別表五(二)の19の③欄及び④欄でプラス表示している事業税等の額を13欄等で減算していますか。

【No.15】別表五(二)の5、10及び15の⑤欄でマイナス表示している還付法人税等又は還付所得税等(いずれも還付加算金を除きます。)の額で、雑収入等に計上しているものを18欄又は19欄で減算していますか。

合計 (26)+(27)±(28)+(29)+(30)+(31)+(32)+(33)	
契約者配当の益金算入額 (別表九(一)[13])	34
特定目的会社等の支払配当又は特定目的信託に係る受託法人の利益の分配等の損金算入額 (別表九(八)[13]、別表九(九)[11]又は別表九(一)[16]若しくは[33])	35
中間申告における繰戻しによる還付に係る災害損失欠損金額の益金算入額	36
非商格合併又は残余財産の全部分配等による移転資産等の譲渡利益額又は譲渡損失額	37
差引計 ((34)から(38)までの計)	38
更生欠損金又は民事再生等評価換算が行われる場合の再生等欠損金の損金算入額 (別表七(三)[9]又は[21])	39
通常対象欠損金額の損金算入額又は通常対象所得金額の益金算入額 (別表七の二[5]又は[11])	40
当初配賦欠損金控除額の益金算入額 (別表七(一)付表一「23の計」)	41
差引計 (39)+(40)±(41)+(42)	42
欠損金等の当期控除額 (別表七(一)[4の計])+(別表七(四)[10])	43
総計 (43)+(44)	44
新鉱床探鉱費又は海外新鉱床探鉱費の特別控除額 (別表十(二)[43])	45
農業経営基盤強化準備金積立額の損金算入額 (別表十二(十三)[10])	46
農用地等を取得した場合の圧縮額の損金算入額 (別表十二(十三)[43の計])	47
関西国際空港用地整備準備金積立額、中部国際空港整備準備金積立額又は再投資等準備金積立額の損金算入額 (別表十二(一)[15]、別表十二(一)[10]又は別表十二(十四)[12])	48
特定事業活動として特別新事業開拓事業者の株式の取得をした場合の特別勘定繰入額の損金算入額又は特別勘定取崩額の益金算入額 (別表十二(六)[21]～[11])	49
残余財産の確定日の属する事業年度に係る事業税及び特別法人事業税の損金算入額	50
所得金額又は欠損金額	51

別表四

令六・四・一以後終了事業年度分

※

外※

△

※

※

※

※

△

※

△

※

利益積立金額及び資本金等の額の計算に関する
明細書

事 業 年 度	:	法 人 名	別表五 (一)
------------	---	-------	------------

御注意

この表は、通常の場合とは次の点に沿って検算ができます。
期首現在利益積立金額合計[31①] + 別表四留保所得金額又は欠損金額[52] - 中間分・確定分の法人税等、道府県民税及び市町村民税の合計額
+ 中間分・確定分の清算税効果額の合計額 = 差引翌期首現在利益積立金額合計[31④]

I 利益積立金額の計算に関する明細書			
区 分	期 首 現 在 利 益 積 立 金 額	当 期 の 增 減	差 引 翌 期 首 現 在 利 益 積 立 金 額 ① - ② + ③
利 益 準 備 金 1	円	円	円
積 立 金 2			
○ ○ ○ 引 当 金 3			
繰 延 税 金 資 産 (負 債) 4			
繰 延 税 金 資 産 (負 債) 5			
	6		

【No.3】期首現在利益積立金額及び期首現在資本金等の額は、前事業年度の申告書の金額と一致していますか。

【No.13】貸借対照表の任意引当金、繰延税金資産（負債）等の金額は、④欄の金額と一致していますか。

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.59】貸借対照表と別表五(一)の未払（未収）消費税額等の合計額は、消費税及び地方消費税の申告書第一表⑯欄の金額と一致していますか。（各月ごとに申告及び納付している外国法人の場合、その合計額に決算月の前月分の納付（還付）税額を調整した金額と一致していますか。）。

【No.11】別表四と別表五(一)の検算額は、31④欄の金額と一致していますか。
(検算式)
31①欄 + 別表四の 52②欄 + 27、29 及び 30 の③欄の合計額 = 31④欄

○ ○ ○	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

緑 越 損 益 金 (損 は 赤) 25

納 税 充 当 金 26

未 納 法 人 税 及 び
未 納 地 方 法 人 税
(附帯税を除く。) 27

未 払 通 算 税 効 果 額
(附帯税の額に係る部分の金額を除く。) 28

未 納 道 府 県 民 税
(均等割を含む。) 29

未 納 市 町 村 民 税
(均等割を含む。) 30

差 引 合 計 額 31

II 資本金等の額の計算に関する明細書			
区 分	期 首 現 在 資 本 金 等 の 額	当 期 の 増 減	差 引 翌 期 首 現 在 資 本 金 等 の 額 ① - ② + ③
資 本 金 又 は 出 資 金 32	円	円	円
資 本 準 備 金 33			
	34		
	35		
差 引 合 計 額 36			

租税公課の納付状況等に関する明細書

事 業
年 度

【No.2】当事業年度に適用され
る別表を使用していますか。

別表五
(二)

税目及び事業年度	期首現在未納税額 ①	当期発生税額 ②	当期中の納付税額		期末現在未納税額 ⑥
			充当金取崩しによる納付 ③	仮払経理による納付 ④	
法地人方	1	円		円	円
税法及人び税	2				
道府県民政	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				

【No.3】前事業年度からの繰越額は、前事業年度の申告書の金額と一致していますか。

税種	当期分	中間分	計	納 税 充 当 金 の 計 算	
				期首納税充當金 30	損金算入のもの 36
村民税					
事特別法税人及び税					
当期中間分	17				
計	18				
その他					
損金算入のもの					
の他					
損金不算入のもの					
納 税 充 当 金 の 計 算					
期首納税充當金 30					
損金経理をした納税充當金 31					
繰入額					
計	32				
(31) + (32)	33				
取扱法人税額等 (5の③)+(10の③)+(15の③)	34				
事業税及び特別法人事業税 (19の③)	35				
期末納税充當金 (30) + (33) - (40)	41				
【No.18】41欄の金額は、貸借対照表等の記載額と 一致していますか。					

事業年度	期首現在未決済額 ①	当期発生額 ②	当期中の決済額		期末現在未決済額 ⑤
			支払額 ③	受取額 ④	
当期分	42	円		円	円
	43				
	44				
計	45				

【No.15】5、10及び15の⑤欄でマイナス表示している還付法人税等又は還付所得税等（いずれも還付加算金を除きます。）の額で、雑収入等に計上しているものを別表四の18欄又は19欄で減算していますか。

令六・四・一以後終了事業年度分

【No.14】5、10、15及び24～29の⑤欄でプラス表示している金額を別表四の2欄、3欄及び5欄で加算していますか。

【No.17】「その他」の③欄に表示している充当金の取崩し又は④欄に表示している仮払経理により納付した源泉所得税又は外国法人税等の額を別表四で減算していますか。

所得税額の控除に関する明細書

事業年度	:	法人名
------	---	-----

別表六(一)

令六・四・一以後終了事業年度分

区分	分	収入金額	①について課される所得税額	②のうち控除を受ける所得税額	③
			①	②	③
公社債及び預貯金の利子、合同運用信託、公社債投資信託及び公社債等運用投資信託(特定公社債等運用投資信託を除く。)の収益の分配並びに特定公社債等運用投資信託の受益権及び特定目的信託の社債的受益権に係る剰余金の配当	1	円	円	円	円
剰余金の配当(特定公社債等運用投資信託の受益権及び特定目的信託の社債的受益権に係るもの)、利益の配当、剰余金の分配及び金銭の分配(みなし配当等を除く。)	2				

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.19】復興特別所得税額について所得税額控除制度の適用を受ける場合、「①について課される所得税額②」及び「②のうち控除を受ける所得税額③」の各欄並びに8欄、14欄及び21欄には、所得税額及び復興特別所得税額を記載していますか。

【No.21】「①について課される所得税額②」の各欄並びに8欄、14欄及び21欄について、集団投資信託の収益の分配に係る源泉所得税の額から控除された分配時調整外国税相当額(別表六(五の二)の「1の②」から「4の②」までの各欄に記載された金額並びに10欄、16欄及び23欄に記載された金額)がある場合には、それぞれの金額を控除していますか(分配時調整外国税相当額について税額控除制度の適用を受ける場合、別表六(五の二)を作成・添付していますか。)。

【No.22】人的役務の提供事業に係る対価につき源泉徴収された所得税額から、人的役務の提供事業に係る給与につき源泉徴収されたとみなされる所得税額を除いていますか。

(合同運用信託、公社債投資信託及び公社債等運用投資信託(特定公社債等運用投資信託を除く。)の収益の分配又は割引債の償還差益に係る控除を受ける所得税額の計算)						
個別銘柄	7	8	9	10	11	12
法による場合	円					円
銘柄別簡便法による場合	13	14				
その他に係る控除						
支払者の氏名 又は法人名	支払者の住所 又は所在地	支払を受けた年月日	収入金額	控除を受ける所得税額	参考	
			20	21		
		・・	円	円		
		・・				
		・・				
		・・				
計						

【No.20】所有期間によるあん分計算を要しないにもかかわらず、あん分計算を行った金額を12欄又は19欄に記載していませんか。

- (例)
- ・公社債及び預貯金の利子
 - ・合同運用信託、公社債投資信託及び公社債等運用投資信託(特定公社債等運用投資信託を除きます。)の収益の分配
 - ・特定公社債等運用投資信託の受益権及び特定目的信託の社債的受益権に係る剰余金の配当
 - ・資本剰余金の減少に伴う剰余金の配当、分割型分割による剰余金の配当、株式分配

控除を受ける所得税額
 $(14) \times (18)$

19
円

法人税の額から控除される特別控除額に関する明細書

事業年度	:	:	法人名
------	---	---	-----

法人税額の特別控除額及び調整前法人税額超過額の計算		調整前法人税額の計算	
当期税額控除可能額 (7の合計)	1	当期税額基準額 $((2) - (3)) \times \frac{90}{100}$	4
調整前法人税額 (別表一「2」又は別表一の二「2」若しくは「13」)	2	法人税額の特別控除額 (1)と(4)のうち少ない金額)+(3)	5
試験研究費の額に係る個別控除対象額の法人税額の特別控除額 (別表六(十四)「14」+「28」)	3	調整前	【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。
当期税額控除可能額、調整前法人税額超過構成額及			
適用を受ける各特別控除制度		当期税額控除可能額 7	調整前法人税額超過構成額 8
一般試験研究費の額に係る法人税額の特別控除	当期分 ①	別表六(九)「21」	別表六(九)「23」
中小企業者等の試験研究費の額に係る法人税額の特別控除	当期分 ②	別表六(十)「18」	別表六(十)「20」
特別試験研究費の額に係る法人税額の特別控除	当期分 ③	別表六(十二)「9」	別表六(十二)「11」
中小企業者等が機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	前期繰越分計 ④	別表六(六)付表「1の③」	別表六(六)付表「2の③」
沖縄の特定地域において工業用機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑤	別表六(十五)「14」	別表六(十五)「16」
国家戦略特別区域において機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑥	別表六(六)付表「1の⑧」	別表六(六)付表「2の⑧」
国際戦略総合特別区域において機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑦	別表六(十六)「16」	別表六(十六)「18」
地域経済牽引事業の促進区域内において特定事業用機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑧	別表六(十七)「23」	別表六(十七)「25」
地方活力向上地域等において特定建物等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑨	別表六(十八)「23」	別表六(十八)「25」
地方活力向上地域等において雇用者の数が増加した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑩	別表六(十九)「18」	
認定地方公共団体の寄附活用事業に関連する寄附をした場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑪	別表六(二十)「16」	
中小企業者等が特定経営力向上設備等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑫	別表六(二十一)「21」	
給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑬	別表六(二十一)「27」	
認定特定高度情報通信技術活用設備を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑭	別表六(二十二)「8」	
情報技術事業適応設備を取得した場合、事業適応繰延資産となる費用を支出した場合又は生産工程効率化等設備等を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑮	別表六(六)付表「1の⑩」	別表六(六)付表「2の⑩」
産業競争力基盤強化商品生産用資産を取得した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑯	別表六(二十三)「15」	別表六(二十四)「17」
特定復興産業集積区域等において機械等を取得した場合の法人税額の特別控除	前期繰越分計 ⑰	別表六(六)付表「1の⑩」	別表六(六)付表「2の⑩」
特定復興産業集積区域等において被災雇用者等を雇用した場合の法人税額の特別控除	当期分 ⑱	別表六(二十四)「43」	別表六(二十四)「45」
合計		(6)	(5)-(3)

別表六(六)

令六・四・一以後終了事業年度分

【No.23】複数の法人税額の特別控除制度の適用を受ける場合、適用を受ける制度に係る別表に記載した当期税額控除可能額を転記していますか。

特定税額控除規定及び産業競争力基盤強化商品生産用資産を取得した場合の法人税額の特別控除の適用可否の判定に関する明細書

	事業年度	：	：	法人名	別表六(七)
継続雇用者給与等支給額に係る要件	内閣府設備投資規定期定に係る要件	内閣府設備投資規定期定に係る要件	内閣府設備投資規定期定に係る要件	内閣府設備投資規定期定に係る要件	内閣府設備投資規定期定に係る要件
期末現在の資本金の額又は出資金の額	1 円	1 円	1 円	1 円	1 円
期末現在の常時使用する従業員の数	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人
継続雇用者給与等支給額	3 円	3 円	3 円	3 円	3 円
継続雇用者比較給与等支給額	4 円	4 円	4 円	4 円	4 円
継続雇用者給与等支給増加割合	5 (%)	5 (%)	5 (%)	5 (%)	5 (%)
特定期定に係る要件	6 該当・非該当	6 該当・非該當	6 該当・非該當	6 該當・非該當	6 該當・非該當
同上以外の場合	7 該当・非該当	7 該當・非該當	7 該當・非該當	7 該當・非該當	7 該當・非該當
産業競争力基盤強化商品生産用資産を取得した場合の法人税額の特別控除の適用可否の判定	8 該当・非該当	8 該當・非該當	8 該當・非該當	8 該當・非該當	8 該當・非該當
【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。					
合計	11 該当・非該当	11 該當・非該當	11 該當・非該當	11 該當・非該當	11 該當・非該當
同上以外の場合	12 該当・非該当	12 該當・非該當	12 該當・非該當	12 該當・非該當	12 該當・非該當
産業競争力基盤強化商品生産用資産を取得した場合の法人税額の特別控除の適用可否の判定	13 該当・非該当	13 該當・非該當	13 該當・非該當	13 該當・非該當	13 該當・非該當
当期の基準所得等金額	14 円				
前事業年度の基準所得等金額の合計額	15	15	15	15	15
(1) ≤ (15)	16 該当・非該当	16 該當・非該當	16 該當・非該當	16 該當・非該當	16 該當・非該當

事業年度等	継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額の計算		
	継続雇用者給与等支給額の計算		継続雇用者比較給与等支給額の計算
	当期	前事業年度	前一年事業年度特定期間
事業年度等	①	②	③
17			

継続等	【No.24】 中小企業者に該当しない場合又は適用除外事業者に該当する場合で、次の(1)から(5)までの法人税額の特別控除制度の適用を受けるときには、別表六(七)を作成・添付していますか。					
	(1) 一般試験研究費の額に係る法人税額の特別控除(別表六(九))					
(2) 特別試験研究費の額に係る法人税額の特別控除(別表六(十二))						
(3) 地域経済牽引事業の促進区域内において特定事業用機械等を取得した場合の法人税額の特別控除(別表六(十九))						
(4) 認定特定高度情報通信技術活用設備を取得した場合の法人税額の特別控除(別表六(二十五))						
(5) 情報技術事業適応設備を取得した場合等の法人税額の特別控除(別表六(二十六))						
当期償却費総額の計算						
損益計算書に計上された減価償却費の額	24 円	当期償却費総額	26 円			
剩余额の処分の方法により特別償却準備金として積み立てた金額その他上記以外の金額	25	(24)+(25)	26			

一般試験研究費の額に係る法人税額の特別控除に関する
明細書

別表六
(九)

特 定 税 領 控 除 規 定 の 適 用 可 否		事 業 年 度	:	:	法 人 名	
試 験 研 究 費 の 額	1	円	調 整 前 法 人 税 額			円
控 除 額 対 象 計 算 試 験 研 究 費	同上のうち特別試験研究費以外の額		(別表一「2」)	【No.2】当事業年度に適用される 別表を使用していますか。		
	(1)のうち一般試験研究費の額に係る 税額控除の対象とする特別試験研究 費の額		当 令 和 8 年	(7) > 4 % の 場 合 $((7) - \frac{4}{100}) \times 0.625$	17	
増 の 減 計 試 験 研 究 費 割 合	【No.25】1欄の金額は、次の資産に係る試験研究費の額を除き、申告調 整額を加減算した税務上の金額となっていますか。 (1) 棚卸資産 (2) 固定資産（事業の用に供する時において試験研究の用に供するもの を除きます。） (3) 繰延資産（試験研究のために支出した費用に係るものを除きます。） また、これらの資産に係る試験研究費の額については、研究開発費と して損金経理をした金額のうちこれらの資産の取得価額となる費用の額 等となっていますか。 そのほか、試験研究費に充当する目的で他の者から支払を受ける金額 がある場合、その金額を試験研究費の額から控除していますか。			(9) > $(\text{値} - 0.05)$	18	令 六 ・ 四 ・ 一 以 後 終 了 事 業 年 度 分
合 す る 和 事 年 度 3 年 月 度 31 の 日 場 以 合 前 の に 試 験 研 究 費 割 合	試 験 研 究 費 割 合	9	の 合 計 算	(0.1を超える場合は0.1) 当 期 税 額 基 準 額 $((16) + (\text{別表六(十三)「9」})) \times (0.25 + ((17) \text{と} (19) \text{のうち高い割合}) \text{又は} (18))$	20	
税 額 控 除 割 合 の 計 算	設立事業年度の場合又は(5)=0の場合 (7)>12%かつ令和8年3月31日以前 に開始する事業年度の場合 $\frac{11.5}{100} + ((7) - \frac{12}{100}) \times 0.375$ (10)及び(11)以外の場合 $\frac{11.5}{100} - (\frac{12}{100} - (7)) \times 0.25$ (0.01未満の場合0.01) (9)>10%の場合の控除割増率 $((9) - \frac{10}{100}) \times 0.5$ (0.1を超える場合は0.1) 税額控除割合 ((10)、(11)又は(12))+((10)、(11) 又は(12))×(13) (小数点以下3位未満切捨て) (0.1又は0.14を超える場合は0.1又は0.14)	10 11 12 13 14	当 期 税 額 控 除 可 能 額 $((15) \text{と} (20) \text{のうち少ない金額}) \text{又は} (\text{別表六(九)付表「26」、「29」又は「31」})$	21		
		15	調 整 前 法 人 税 額 超 過 構 成 額 (別表六(六)「8の①」)	22		
			法 人 税 額 の 特 別 控 除 額 (21)-(22)	23		
税 額 控 除 限 度 額						

中小企業者等の試験研究費の額に係る法人税額の特別控除に関する明細書

事業年度	：	：	法人名	別表六(十)
円				円
試験研究費の額	1		中小企業者等税額控除限度額 (4) × ((12)又は0.12)	13

控除対象額
同上のうち特別試験研究費以外の額

【No.25】1欄の金額は、次の資産に係る試験研究費の額を除き、申告調整額を加減算した税務上の金額となっていますか。

- (1) 棚卸資産
- (2) 固定資産（事業の用に供する時において試験研究の用に供するものを除きます。）
- (3) 繰延資産（試験研究のために支出した費用に係るものを除きます。）

また、これらの資産に係る試験研究費の額については、研究開発費として損金経理をした金額のうちこれらの資産の取得価額となる費用の額等となっていますか。

そのほか、試験研究費に充当する目的で他の者から支払を受ける金額がある場合、その金額を試験研究費の額から控除していますか。

試験研究費割合の計算	平均売上金額 (別表六(十一)「10」)	円計算	当期税額基準額 ((14) + (別表六(十三)「9」)) × ((15)、 (0.25 + (16))又は0.25)	17
	試験研究費割合 (1) (8)	9	当期税額控除可能額 ((13)と(17)のうち少ない金額)又は(別表六(十)付表「23」、「26」又は「28」)	18
税額控除割合の計算	割増前税額控除割合 $\frac{12}{100} + ((7) - \frac{12}{100}) \times 0.375$ (0.12未満の場合、設立事業年度の場合又は(5)=0の場合は0.12)	10	調整前法人税額超過構成額 (別表六(六)「8の②」)	19
	(9) > 10 % の場合の控除割増率 $((9) - \frac{10}{100}) \times 0.5$ (0.1を超える場合は0.1)	11		
の計算	税額控除割合 (10) + (10) × (11) (小数点以下3位未満切捨て) (0.17を超える場合は0.17)	12	法人税額の特別控除額 (18) - (19)	20

合 計 8 年 3 月 31合 日 以 前 に 開 始 す る	整前法人税額 別表一「2」又は別表一の二「2」若しくは「13」	14
	(9) > 10 % の場合の特例加算割合 $((9) - \frac{10}{100}) \times 2$ (小数点以下3位未満切捨て) (0.1を超える場合は0.1)	16

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

0.35

別表六(十)
令六・四・一以後終了事業年度分

試験研究を行った場合の法人税額の特別控除における比較試験研究費の額及び平均売上金額の計算に関する明細書

事業年度

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

別表六十

令六・四・一以後終了事業年度分

比較試験研究費の額の計算			
事業年度	試験研究費の額		
1	2 円		
度	度		
度	度		
	計		
比 較 試 験 研 究 費 の 額 (4の計) ÷ (調整対象年度数)			
平 均 売 上 金 額 の 計 算			
事業年度	売上金額	当期の月数 (6)の事業年度の月数	改定売上金額 (7) × (8)
6	7 円	8	9 円
売上調整年度	：	—	—
当期	：	—	—
	計		
平 均 売 上 金 額 (9の計) ÷ (1 + 売上調整年度数)			
	10 円		

【No.26】申告調整額を加減算した税務上の金額となってていますか。

また、当事業年度に適用される規定により計算していますか。

【No.28】調整対象年度及び売上調整年度に試験研究費の額がない事業年度を含めて、5欄及び10欄の計算を行っていますか。

【No.29】合併等が行われた場合、比較試験研究費の額及び平均売上金額の調整を行っていますか。

また、分割、現物出資又は現物分配が行われた場合の比較試験研究費の額及び平均売上金額の調整計算の特例の適用を受ける場合（現物分配の場合は、比較試験研究費の額の調整計算に限ります。）、所定の事項を記載した書類を添付していますか。

【No.27】申告調整額を加減算した税務上の金額となってていますか。

特別試験研究費の額に係る法人税額の特別控除に関する明細書

事業年度	:	法人名	
------	---	-----	--

別表六
十二

特 定 税 額 控 除 規 定 の 適 用 可 否		円 令六・四・一以後終了事業年度分
特 別 試 験 研 究 費 の 額 (14の計)	1	調 整 前 法 人 税 額 (別表一「2」又は別表一の二「2」若しくは「13」) 7
控 除 対 象 済 特 別 試 験 研 究 費 の 額 (別表六(九)「3」又は(別表六(十)「3」)	2	【No.2】当事業年度に適用される 当 别表を使用していますか。
差 引 対 象 特 別 試 験 研 究 費 の 額 (1) - (2)	3	((7)+(別表六(十三)「18」)) × $\frac{10}{100}$
同上のうち税額控除割合が30%である試験研究に係る特別試験研究費の額 (3)と(15)のうち少ない金額)	4	当 期 税 額 控 除 可 能 額 ((6)と(8)のうち少ない金額)又は(別表六(十二)付表二「13」、「16」又は「18」) 9
(3)のうち税額控除割合が25%である試験研究に係る特別試験研究費の額 (((3)-(4))と(16)のうち少ない金額)	5	調 整 前 法 人 税 額 超 過 構 成 額 (別表六(六)「8の③」) 10
特 別 研 究 税 額 控 除 限 度 額 $(4) \times \frac{30}{100} + (5) \times \frac{25}{100} + ((3) - (4) - (5)) \times \frac{20}{100}$	6	法 人 税 額 の 特 別 控 除 額 (9) - (10) 11
特 別 試 験 研 究 費 の 額 の 明 細		
措法第42条の4第7項各号の該当号	特 別 試 験 研 究 の 内 容	特別試験研究費の額
第1号	【No.25】1欄の金額は、次の資産に係る試験研究費の額を除き、申告調整額を加減算した税務上の金額となっていますか。 (1) 棚卸資産 (2) 固定資産（事業の用に供する時において試験研究の用に供するものを除きます。） (3) 繰延資産（試験研究のために支出した費用に係るものを除きます。） また、これらの資産に係る試験研究費の額については、研究開発費として損金経理をした金額のうちこれらの資産の取得価額となる費用の額等となっていますか。 そのほか、試験研究費に充当する目的で他の者から支払を受ける金額がある場合、その金額を試験研究費の額から控除していますか。	14 円
(14の計)のうち(12)が第1号である試験研究に係る特別試験研究費の額		15
(14の計)のうち(12)が第2号である試験研究に係る特別試験研究費の額		16

欠損金の損金算入等に関する明細書

別表七
(一)

令六
・
四
・
一
以
後
終
了
事
業
年
度
分

事業年度		損金算入限度額	法人名	
控除前所得金額 (別表四「43の①」)	1	円 (1) × $\frac{50\text{又は}100}{100}$ 2		
事業年度	区分	控除未済欠損金額	当期控除額	翌期繰越額
		3	4	5
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
青色欠損・連結みなし欠損・災害損失		円		円
計				
当期	欠損金額 (別表四「52の①」)		欠損金の繰戻し額	
同上 のうち	青色欠損金額			
	災害損失欠損金額 (16の③)			

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.3】前事業年度からの繰越額は、前事業年度の申告書の金額と一致していますか。

【No.30】2欄の金額は、欠損金控除前の所得金額の50%相当額となっていますか。ただし、次の事業年度を除きます。

- (1) 当事業年度終了の時における資本金の額又は出資金の額が1億円以下であり、かつ、一又は完全支配関係のある複数の大法人に発行済株式等の全部を保有されていない外国法人である場合の事業年度
- (2) 更生手続開始の決定の日等からその更生計画認可の決定の日等以後7年を経過する日までの期間内の日の属する事業年度（株式が上場された等の事由が生じた日以後に終了する事業年度を除きます。）
- (3) 設立の日から同日以後7年を経過する日までの期間内の日の属する事業年度である場合のその外国法人（一定の外国法人を除きます。）の事業年度（株式が上場された等の事由が生じた日以後に終了する事業年度を除きます。）

また、別表一の二において、恒久的施設帰属所得とその他の国内源泉所得を区分して所得金額から欠損金を控除していますか。

保険金又は損害賠償金等の額	11		
差引災害により生じた損失の額 (10) - (11)	12		
同上のうち所得税額の還付又は欠損金の繰戻しの対象となる災害損失金額	13		
中間申告における災害損失欠損金の繰戻し額	14		
繰戻しの対象となる災害損失欠損金額 ((6の③)と((13の③)-(14の③))のうち少ない金額)	15		
繰越控除の対象となる欠損金額 ((6の③)と((12の③)-(14の③))のうち少ない金額)	16		

受取配当等の益金不算入に関する明細書

事業年度	：	【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。	別表八(一)
完全子法人株式等に係る受取配当等の額 (9の計)	1	円 非支配目的株式等に係る受取配当等の額 (33の計)	4
関連法人株式等に係る受取配当等の額 (16の計)	2	受取配当等の益金不算入額 (1) + ((2) - (20の計)) + (3) × 50% - (4) × (20% 又は40%)	5
その他株式等に係る受取配当等の額 (26の計)			
受取		【No.32】9欄の金額に、完全子法人株式等に係る配当等の額に該当しないものを含めていませんか。	令六・四・一以後終了事業年度分
完全子法人			
本店の所在地			計
受取配当等の額の計算期間	8	：	
受取配当等の額	9	円	円
関連法人	10	【No.33】14欄の金額に、関連法人株式等に係る配当等の額に該当しないものを含めていませんか。	
本店の所在地	11		
受取配当等の額の計算期間	12	：	
保有割合	13	：	
受取配当等の額	14	円	円
同上のうち益金の額に算入される金額	15	：	
益金不算入の対象となる金額 (14) - (15)	16	：	
(34)が「不適用」の場合又は別表八(一) 付表「13」が「非該当」の場合 (16) × 0.04	17	：	
同上 <u>(16)</u> <u>(16の計)</u>	18	：	
支払利息等の10%相当額 (((38) × 0.1)又は(別表八(一)付表 「14」) × (18))	19	：	
受取配当等の額から控除する支払利息等の額 (17)又は(19)	20	：	
その他株式等	21	【No.31】9欄、16欄、26欄及び33欄の金額に益金不算入の対象とならないものの額を含めていませんか。 (例) • 公社債の利子の額 • MMF(追加型公社債投資信託)等の公社債投資信託の収益の分配の額 • 公社債投資信託以外の証券投資信託の収益の分配の額(外国株価指数連動型特定株式投資信託以外の特定株式投資信託(ETF)の収益の分配の額を除きます。) • 不動産投資信託の収益の分配の額 • オープン投資信託の特別分配金の額 • 外国法人、特定目的会社、投資法人から受ける配当等の額 • 匿名組合契約に基づいて受ける利益の分配の額	
本店の所在地	22		
保有割合	23		
受取配当等の額	24	円	円
同上のうち益金の額に算入される金額	25	円	円
益金不算入の対象となる金額 (24) - (25)	26	円	円
非支配目的株式等	27	【No.34】24欄の金額に、その他株式等に係る配当等の額に該当しないものを含めていませんか。	
本店の所在地	28		
基準日	29	【No.35】31欄の金額に、非支配目的株式等に係る配当等の額に該当しないものを含めていませんか。 なお、外国株価指数連動型特定株式投資信託以外の特定株式投資信託(ETF)の収益の分配の額は、非支配目的株式等として益金不算入の対象となります。	
保有割合	30		
受取配当等の額	31		
同上のうち益金の額に算入される金額	32		
益金不算入の対象となる金額 (31) - (32)	33		
支払利息子等の額の明細			
令第19条第2項の規定によ			
当期に支払う利子等の額	35	【No.36】35欄の金額は、損益計算書の支払利息(社債利息及び手形の割引料等を含みます。)の額の合計額(別表四において、支払利息等に係る申告調整を行っている場合、その調整後の金額)と一致していますか。	不適用 円
国外支配株主等に係る負債の利子等の損金不算入額、対象純支払利子等の損金不算入額又は恒久的施設に帰せられるべき資本に対応する負債の利子の損金不算入額 (別表十七(一)「35」と別表十七(二)「29」のうち多い金額)又は(別表十七(二)「34」と別表十七(二)「17」のうち多い金額)	36	(35) - (36) + (37)	38

寄附金の損金算入に関する明細書

事年	業度	・	・	法人名	別表十四(二)
公益法人等以外の法人の場合					
一般 寄附 金の 損 金 算 入 限 度 額 の 計 算	支 出 し た 寄 附 金 の 額	指 定 寄 附 金 等 の 金 額 (41の計)	1	円	
	特 定 公 益 増 進 法 人 等 に 对 す る 寄 附 金 額 (42の計)		2		
	そ の 他 の 寄 附 金 額		3		
	計 (1) + (2) + (3)		4		
	完 全 支 配 関 係 が あ る 法 人 に 對 す る 寄 附 金 額		5		
	計 (4) + (5)		6		
	所 得 金 額 仮 計 (別表四「26の①」)		7		
	寄 附 金 支 出 前 所 得 金 額 (6) + (7) (マイナスの場合は0)		8		
公益法人等の場合					
	損 金 算 人 限	支 出 し た 長 期 給 付 事 業 へ の 練 入 利 子 額	25	円	
		【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。			令六・四・一以後終了事業年度分
		計 (25) + (26) + (27)	28		
		所 得 金 額 仮 計 (別表四「26の①」)	29		
指 定 寄 附 金 等 に 関 す る 明 細					
寄 附 し た 日	寄 附 先	告 示 番 号	寄 附 金 の 使 途	寄 附 金 額 41	円
	計				
特定公益増進法人若しくは認定特定非営利活動法人等に対する寄附金又は認定特定公益信託に対する支出金の明細					
寄 附 し た 日	寄 附 先 又 は 受 託 者	所 在 地	寄 附 金 の 使 途 又 は 認 定 特 定 公 益 信 託 の 名 称 42	寄 附 金 額 又 は 支 出 金 額	円
	計				
その他の寄附金のうち特定公益信託(認定特定公益信託を除く。)に対する支出金の明細					
支 出 し た 日	受 託 者	所 在 地	特 定 公 益 信 託 の 名 称	支 出 金 額	円

【No.37】恒久的施設帰属所得の計算において、10欄の額は、資本金の額及び資本準備金の額の合計額又は出資金の額に貸借対照表に計上されている総資産の帳簿価額のうちに恒久的施設を通じて行う事業に係る資産の帳簿価額の占める割合を乗じて計算した金額となっていますか。

交際費等の損金算入に関する明細書

別表十五

令六・四・一以後終了事業年度分

事 業 度	：	：	法 人 名	
支 出 交 際 費 等 の 額 (8 の 計)	1	円	損 金 算 入 限 度 額 4	円
支出接待飲食費損金算入基準額 (9の計) × $\frac{50}{100}$	2		【No.2】当事業年度に適用される別表 を使用していますか。	
中小法人等の定額控除限度額 ((1)と((800万円 × $\frac{12}{100}$)又は(別表十一 五付表「5」))のうち少ない金額)	3		損 金 不 算 入 額 (1) - (4)	5
支 出 交 際 費 等 の 額 の 明 細				
科 目	支 出 額	交 際 費 等 の 額 か ら 控 除 さ れ る 費 用 の 額	差 引 交 際 費 等 の 額	(8) の う ち 接 待 飲 食 費 の 額
交 際 費	6	円	7	8
				円
				9
○ ○ ○			【No.38】交際費等の額に係 る控除対象外消費税額等 を支出交際費等の額に含 めていますか。	
計			【No.38】接待飲食費の額に係る控 除対象外消費税額等を9欄に含 めていますか。	

旧定額法又は定額法による減価償却資産の償却額の計算に関する明細書

事業度	：	：	法人名
-----	---	---	-----

別表
十六(一)

令六
・
四
・
一
以
後
終
了
事
業
年
度
分

種類	1					
構造	2					
細目	3					
区分	4	・	・	・	・	・
事業の用に供した年月	5					
耐用年数	6	年	年	年	年	年
取得価額又は製作価額	7	外円	外円	外円	外円	外円
(7)のうち積み方式による評価記載の場合の価額計算の対象となる取扱い額にしない金額差引取扱い額	8					
(7)-(8)	9					
償却額計算の対象となる期末現在の帳簿記載金額	10					
帳簿価額	11					
積立金の期中取崩額	12					
差引帳簿記載金額	13	外△	外△	外△	外△	外△
(10)(11)(12)						
損金に計上した当期償却額	14					
前期から繰り越した償却超過額	15	外	外	外	外	外
合計	16					
(13)+(14)+(15)						
平成当期分の普通償却限度額等	17					
残存価額	17					
差引取得価額 × 5 %	18					
19年3月31日以前取得分	19					
旧定額法の償却額計算の基礎となる金額(9)-(17)	19					
旧定額法の償却率	20					
(16)>(18)の場合 算出償却額 (19)×(20)	21					
増加償却額 (21)×割増率	22	(
計 (21)+(22)又は((16)-(18))	23					
(16)<(18)の場合 ((18)-1円)× $\frac{1}{60}$	24					
平成19年4月1日以後取得分	25					
定額法の償却率	26					
算出償却額 (25)×(26)	27					
増加償却額 (27)×割増率	28	(
計 (27)+(28)	29					
当期分の普通償却限度額等	30					
(23)、(24)又は(29)	30					
特にはに適用する特別償却制度の適用範囲	31					
特別償却制度	32	外				
前期から繰り越した特別償却不足額	33					
合計 (30)+(32)+(33)	34					
当期償却額	35					
償却不足額 (34)-(35)	36					
償却超過額 (35)-(34)	37					
前期からの繰越額 38	38	外				
当認定期間の償却不足によるもの	39					
積立金取崩しにによるもの	40					
差引合計翌期への繰越額 (37)+(38)-(39)-(40)	41					
翌期に繰り越すべき特別償却不足額 ((36)-(39)と(32)-(33)のうち少ない金額)	42					
当期において切り替てる特別償却不足額又は合併等特別償却不足額	43					
差引翌期への繰越額 (42)-(43)	44					
差引翌期への繰越額 (42)-(43)	45					
当期分不足額 46	46					
組合再編成により引き継ぐべき特別償却不足額 ((36)-(39)と(32)のうち少ない金額)	47					
備考						

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.41】中小企業者に該当しない場合又は適用除外事業者に該当する場合等に、次の特別償却を適用していませんか。

- (1) 中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却
- (2) 地方活力向上地域等において特定建物等を取得した場合の特別償却（適用要件の緩和措置）
- (3) 中小企業者等が特定経営力向上設備等を取得した場合の特別償却
- (4) 被災代替資産等の特別償却（特別償却率の上乗せ特例）
- (5) 特定事業継続力強化設備等の特別償却
- (6) 特定地域における工業用機械等の特別償却（沖縄の離島地域等に係るもの）（中小規模法人に係る適用要件の緩和措置）

【No.42】特別償却の適用を受けた資産について、措法による圧縮記帳又は他の特別償却を重複適用していませんか。

【No.43】特別償却の制度ごとに適用すべき基準取得価額割合及び償却率によって計算していますか。

【No.3】前事業年度からの繰越額は、前事業年度の申告書の金額と一致していますか。

旧定率法又は定率法による減価償却資産の償却額の計算に関する明細書

事 業 年 度	：	：	法 人 名
---------	---	---	-------

別表十六(二)

令六・四・一以後終了事業年度分

資 産 細 目 取 得 年 月 日 事 業 の 用 に 供 し た 年 月 耐 用 年 数	種 類 1							
	構 造 2							
	区 分 3							
	取 得 年 月 日 4							
	事 業 の 用 に 供 し た 年 月 5							
	耐 用 年 数 6							
	取 得 価 額 又 は 製 作 価 額 7	外	外	外	外	外	外	
	(7)のうち種々な方式による重複記帳の場合の償却額引算の対象となる取得価額に算入しない金額 8							
	差 引 取 得 価 額 9 (7) - (8)							
	償 却 額 計 算 の 基 礎 と な る 額 10							
償 却 額 計 算 の 基 礎 と な る 額 11	償 却 額 計 算 の 対 象 と な る 期 末 現 在 の 帳 簿 記 載 金 額 12							
	積 立 金 の 期 中 取 崩 額 13 (10) - (11) - (12)	外△	外△	外△	外△	外△	外△	
	損 金 に 計 上 し た 当 期 償 却 額 14							
	前 期 か ら 繰 り 越 し た 償 却 超 過 額 合 計 15 (13) + (14) + (15)	外	外	外	外	外	外	
	前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 償 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 償 却 不 足 額 16							
	前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 償 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 償 却 不 足 額 17							
	償 却 額 計 算 の 基 礎 と な る 額 18 (16) - (17)							
	平 成 19 年 3 月 31 日 以 前 取 得 分 の 普 通 償 却 限 度 額 等 得 分 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	差 引 取 得 価 額 × $\frac{5}{100}$	19					
	当 期 分 の 普 通 償 却 限 度 額 等 得 分 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	旧定率法の償却率	20					
	算 出 償 却 額 21 (16) > (19) (18) × (20)	円	円	円	円	円	円	
	の 場 合 増 加 償 却 額 (21) × 増 加 率 ((21) + (22)) 又は (18) - (19)	()	
	計 23 (16) ≤ (19) (19) - 1 円) × $\frac{60}{60}$							
	算 出 償 却 額 24 の 場 合 ((19) - 1 円) × $\frac{60}{60}$							
	平 定 率 法 の 償 却 率 25 調整前 償 却 額 26 ((18) × (25))							
	保 証 率 27							
	價 却 保 証 額 28 (9) × (27)							
	改 定 取 得 価 額 29 改 定 價 却 率 30 改 定 價 却 額 31 增 加 價 却 額 32 ((26) 又は (31)) × 増 加 率 ((26) 又は (31)) + (32)							
	保 証 率 33 價 却 保 証 額 34 改 定 取 得 価 額 35 改 定 價 却 率 36 改 定 價 却 額 37 前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 38 ((34) + (36) + (37))							
	当 期 分 の 普 通 償 却 限 度 額 等 得 分 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	当期分の普通償却限度額等 (23)、(24)又は(33)	34					
	持 有 に 係 れ る 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 35 前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 36 前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 37 合 計 38 ((34) + (36) + (37))	租 税 特 別 措 置 法 通 用 條 項 特 別 價 却 限 度 額 外						
	当 期 分 の 特 別 價 却 限 度 額 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	持 有 に 係 れ る 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 42 前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 43 前 期 か ら 繰 り 越 し た 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 44 差 引 合 計 翌 期 への 繰 越 額 45 翌 期 に 操 り 越 す べ き 特 別 價 却 不 足 額 (((10) - (13)) と ((36) - (37)) のうち少ない金額) 当 期 に お い て 切 り 替 て る 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 46 差 引 合 計 翌 期 への 繰 越 額 47 要 根 據 の 内 容 48 當 期 分 不 足 額 49 當 期 分 不 足 額 50 當 期 分 不 足 額 51	持 有 に 係 れ る 特 別 價 却 不 足 額 又 は 合 併 等 特 別 價 却 不 足 額 外					

【No.40】平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物並びに鉱業用減価償却資産のうち、建物、建物附属設備及び構築物の償却方法について、定率法を適用していませんか。

【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

【No.41】中小企業者に該当しない場合又は適用除外事業者に該当する場合等に、次の特別償却を適用していませんか。

- (1) 中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却
- (2) 地方活力向上地域等において特定建物等を取得した場合の特別償却（適用要件の緩和措置）
- (3) 中小企業者等が特定経営力向上設備等を取得した場合の特別償却
- (4) 被災代替資産等の特別償却（特別償却率の上乗せ特例）
- (5) 特定事業継続力強化設備等の特別償却
- (6) 特定地域における工業用機械等の特別償却（沖縄の離島地域等に係るもの）（中小規模法人に係る適用要件の緩和措置）

【No.42】特別償却の適用を受けた資産について、措法による圧縮記帳又は他の特別償却を重複適用していませんか。

【No.43】特別償却の制度ごとに適用すべき基準取得価額割合及び償却率によって計算していますか。

【No.3】前事業年度からの繰越額は、前事業年度の申告書の金額と一致していますか。

備考

国外関連者に関する明細書

事年	業度	.	.	法人名
----	----	---	---	-----

別表
十七
四

国外 関連 者 の 名 称 等	名 称				令六 ・ 四 ・ 一 以 後 終 了 事 業 年 度 分			
	本店の 所在地 又は事 務主所	国名又は地 所在	【No.44】国外関連者との取引がある場合、取引がある全ての国外 関連者について、「国外関連者の名称等」欄及び「国外関連者と の取引状況等」欄を記載していますか（取引には対価の授受がな いものも含みます。）。					
	外 主たる事 業員の							
	資本金の額又は出資金の額							
	特殊の関係の区分		第	該当		第	該当	
	株式等の保有割合		保 有	%			%	
			被 保 有	%		【No.2】当事業年度に適用される 別表を使用していますか。		
			同一の者による 国外関連者の株 式等の保有	%		%	%	
	直近事業 年度の 営業 収益 等		事 業 年 度	:		:	:	
	営業収益又は売上高		(百万円)	(百万円)		(百万円)		
営業費用	原 価	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
	販売費及び 一般管理費	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
	営 業 利 益	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
	税引前当期利益	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
	利 益 剰 余 金	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
国外 関連 者 と の 取 引 状 況 等	棚卸資産の 売買の対 価	受 取	百万円	百万円	百万円			
		支 払						
		算定方法						
	役務提供の 対価	受 取	百万円	百万円	百万円			
		支 払						
		算定方法						
	有形固定資産 の使 用 料	受 取	百万円	百万円	百万円			
		支 払						
		算定方法						
	無形資産の 譲渡の対 価	受 取	百万円	百万円	百万円			
	支 払							
	算定方法							
無形資産の使用料	受 取	百万円	百万円	百万円				
	支 払							
	算定方法							
貸付金の利息又は 借入金の利息	受 取	百万円	百万円	百万円				
	支 払							
	算定方法							
事 前 確 認 の 有 無	有 · 無	有 · 無	有 · 無					

外国法人の本店等との間の内部取引の状況等に関する明細書

事業度	.	法人名
-----	---	-----

別表十七の二(三)

令六・四・一以後終了事業年度分

外 営 国 業 法 収 人 益 の 等	営業収益又は売上高	(百万円)	営業利益	(百万円)
	原 価	(百万円)	税引前当期利益	(百万円)
内 で 本 部 あ 店 取 る 等 の 国 名 の 相 法 称 手 人 等 方 の	営業費用			百万円)
名	所 在 地			
外 国 法 人 の 本 店 等 と の 間 の 内 部 取 引 の 状 況 等	棚卸資産の対価	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	【No.45】内部取引がある場合、自社の直近事業年度の営業収益等、内部取引の相手方である外国法人の本店等の名称等及びその内部取引の状況等について記載していますか（取引には対価の授受がないものも含みます。）。
	役務提供の対価	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	【No.2】当事業年度に適用される別表を使用していますか。
	有形固定資産の使用料	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	
	無形資産の譲渡の対価	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	
	無形資産の使用料	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	
	貸付金の利息又は借入金の利息	受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	
		受取 支 払 算定方法	百万円 百万円 百万円	
事 前 確 認 の 有 無	有 · 無	有 · 無	有 · 無	

貸借対照表（令和7年3月31日現在）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動		流 動 負 債	
受 取 手 形	【No.18】別表五(二)の④欄の記載額と一致していますか。	支 払 手 形	
仕 掛 品		買 掛 金	
材 料	【No.13】任意引当金、繰延税金資産(負債)等の金額は、別表五(一)の④欄の金額と一致していますか。	未 払 費 用	
貯 藏 品		短 期 借 入 金	
短 期 貸 付 金		未 払 法 人 税 等	
前 払 費 用		賞 与 引 当 金	
繰 延 税 金 資 産		製 品 保 証 引 当 金	
そ の 他		未 払 消 費 税 額 等	
貸 倒 引 当 金		固 定 負 債	
固 定 資 產		長 期 借 入 金	
有形固定資産		社 債	
建 物		退 職 給 付 引 当 金	
建物付属設備		役 員 退 職 引 当 金	
機械及び装置		繰 延 税 金 負 債	
車輌及び運搬具		負 債 合 計	
土 地		本 店	
建 物 仮 勘 定			【No.59】貸借対照表と法人税申告書別表五(一)の未払(未収)消費税額等の合計額は、消費税及び地方消費税の申告書第一表⑬欄の金額と一致していますか(各月ごとに申告及び納付している外国法人の場合、その合計額に決算月の前月分の納付(還付)税額を調整した金額と一致していますか。)。
無形固定資産			
借 地 権			
施 設 利 用 権			
営 業 権			
投資その他の資産			
投 資 有 価 証 券			
長 期 貸 付 金			
前 払 年 金 費 用			
貸 倒 引 当 金			
資 產 合 計		純 資 產 合 計	
		負 債 及 び 純 資 產 合 計	

損 益 計 算 書 (自令和6年4月1日至令和7年3月31日)

科 目	金 頓
營 業 収 益	
売 上 高	
營 業 費 用	
売 上 原 価	
販売費及び一般管理費	
營 業 利 益	
營業外収益	
營業外費用	
支 払 利 息	
經 常 利 益	
特 別 利 益	
固 定 資 產 売 却 益	
特 別 損 失	
有 価 証 券 評 価 損	
減 損 損 失	
ゴルフ会員権評価損	
貸 倒 損 失	
稅引前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	
法 人 税 等 調 整 額	
当 期 純 利 益	

【No.47】損金の額に算入されない租税公課、罰科金等の額を別表四で加算していますか。

【No.46】有価証券若しくはゴルフ会員権等の評価損又は減損損失の額のうち、税務上損金の額に算入されない金額を別表四で加算していますか。

G K O 3 0 6

第3-(1)号様式

令和 年 月 日	平成 年 月 日
納 税 地	(フリガナ)
法 人 名	
法 人 番 号	□□□□
(フリガナ)	
代 表 者 氏 名	

【No.58】法人税申告書別表四の加減算項目中、消費税法上課税取引となるものについて、消費税及び地方消費税の申告書において調整を行っていますか。

【No.60】課税仕入れに係る消費税額が全額控除できず、資産に係る控除対象外消費税額等を損金の額に算入している場合、法人税申告書別表十六(十)を添付していますか。

また、課税売上割合が80%未満である場合、繰延消費税額等の損金算入限度額の計算をしていますか(資産に係る控除対象外消費税額等が棚卸資産及び特定課税仕入れに係るもの並びに一の資産に係る金額が20万円未満である場合で、損金経理をしたもの)を除きます。)。

自 平成 □□□年□□□月□□□日
令和 □□□年□□□月□□□日

課税期間分の消費税及び地方消費税の()申告書

中間申告 自 平成 □□□年□□□月□□□日
の場合は
対象期間 至 令和 □□□年□□□月□□□日

至 令和 □□□年□□□月□□□日

法
人
用

第一表

令和五年十月一日以後終了課税期間分(一般用)

この申告書による消費税の税額の計算		付 割時 其 準 の 满 用	右	無
課 税 標 準 額	①	十 九 千		31
消 費 税 額	②			32
控 除 過 大 調 整 税 額	③			33
控 除 対象仕入税額	④			34
返還等対価額	⑤			35
税額	⑥			応式
貸倒れに係る税額	⑦			41
控除税額小計 (④+⑤+⑥)	⑧			
控除不足還付税額 (⑦-②-③)	⑨		0 0	15
差 引 税 額 (②+③-⑦)	⑩		0 0	16
中間納付税額	⑪		0 0	17
納付税額 (⑨-⑩)	⑫		0 0	18
中間納付還付税額 (⑩-⑨)	⑬		0 0	19
この申告書が修正申告である場合	既確定税額	⑭	0 0	20
差引納付税額	⑮		0 0	21
課税資産の譲渡等の対価の額	⑯		0 0	22
課税売上割合	資産の譲渡等の対価の額	⑰		23
控除不足還付税額	⑱		0 0	24
差引税額	⑲		0 0	25
譲渡割額	還付額	⑳		26
納 税 額	㉑		0 0	27
中間納付譲渡割額	㉒		0 0	28
納付譲渡割額 (㉐-㉑)	㉓		0 0	29
中間納付還付譲渡割額 (㉑-㉐)	㉔		0 0	30
この申告書が修正申告である場合	既確定譲渡割額	㉕		31
差引納付譲渡割額	㉖		0 0	32
消費税及び地方消費税の合計(納付又は還付)税額	㉗		0 0	33

【No.48】①欄の金額は、付表2-1①のD欄、E欄(X欄に金額がある場合、付表2-2の各欄)又は2-3①のA欄、B欄の金額のそれぞれ1,000円未満切捨て後の金額の合計額と一致していますか(⑤欄又は付表2-1若しくは2-3⑩の各欄に記載がある場合、返還等対価の額に相当する金額又は特定課税仕入れに係る支払対価の額が加算されていますか。)。

【No.57】⑩欄及び⑫欄の金額について、消費税及び地方消費税のそれぞれの金額の集計・配賦誤りや、中間申告11回目分の記載漏れはありませんか。

【No.59】㉖欄の金額は、貸借対照表と法人税申告書別表五(一)の未払(未収)消費税額等の合計額と一致していますか(各月ごとに申告及び納付している外国法人の場合、その合計額に決算月の前月分の納付(還付)税額を調整した金額と一致していますか。)。

3-(2)号様式

G K 0 6 0 2

課税標準額等の内訳書

納税地 (フリガナ)	(電話番号 - - - -)
法人名 (フリガナ)	
代表者氏名	

整 理 番 号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
改正法附則による税額の特例計算							
軽減売上割合(10営業日)	<input type="radio"/>	附則38①	51				
小売等軽減仕入割合	<input type="radio"/>	附則38②	52				

自 令和 年 月 日

課税期間分の消費税及び地方 消費税の()申告書

中間申告 自 令和 年 月 日
の場合の
対象期間 至 令和 年 月 日

課 稅 標 準 額

※申告書(第一表)の①欄へ

【No.56】課税売上割合が 95%未満であり、かつ、特定課税仕入れ（例えば、国外事業者が行うネット廣告の配信等）がある場合、⑧～⑩欄に特定課税仕入れに係る支払対価の（合計）額を記載していますか。

第4-(1)号様式

付表1-1 税率別消費税額計算表 兼 地方消費税の課税標準となる消費税額計算表
〔経過措置対象課税資産の譲渡等を含む課税期間用〕

一般

課 税 期 間		・ · ~ · ·	氏 名 又 は 名 称	
区 分				
課 税 標 準 額	①	旧 税 率 分 小 計 X (付表1-2の①X欄の金額) 000	税 率 6.24 % 適用 分 D (付表2-1の②D欄の金額) 000	税 率 7.8 % 適用 分 E (付表2-1の③E欄の金額) 000
内 訳	① ② ③ 消 費 税 額 (付表1-2の④ 表1-2の⑤ 控除過大調整税額 (付表1-2の⑥ 控除対象仕入税額 (付表1-2の⑦ 返還等対価に 係る税額 (付表1-2の⑧ 除 税 内 訳 税 額 控除不足還付税額 (⑦-②-③) 差引税額 (②+③-⑦) 合計差引税額 (⑨-⑧) 地方消費税の 課税標準となる 消費税額 (⑫-⑪) 譲渡割額 還付額 (付表1-2の⑭X欄の金額) 納税額 (付表1-2の⑮X欄の金額)	合 計 F (X+D+E) 000	※第二表の①欄へ 000	※第二表の①欄へ 000
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	【No.52】令和5年10月1日以後に行った課税資産の譲渡等に係る課税標準額に対する消費税額（売上税額）について、②のD欄、E欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法（積上げ計算）により計算している場合、同日以後に行った課税仕入れに係る消費税額（仕入税額）について、付表2-1⑩のD欄、E欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法（割戻し計算）により計算していませんか。	【No.55】⑥のD欄、E欄は、貸倒れに係る売掛金等の額（税込額）の6.24/108、7.8/110相当額を、⑥X欄は、付表1-2⑥のA欄、B欄、C欄の貸倒れに係る売掛金等の額（税込額）の3/103、4/105、6.3/108相当額の合計額を記載していますか。 また、不課税又は非課税取引（金銭の貸付け等）に係る貸倒れについて控除の対象としていませんか。	※マイナスの場合は第一表の⑧欄へ ※プラスの場合は第一表の①欄へ
合計差引譲渡割額 (⑯-⑪)				※マイナスの場合は第一表の⑯欄へ ※プラスの場合は第一表の⑯欄へ

注意 1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。

2 旧税率が適用された取引がある場合は、付表1-2を作成してから当該付表を作成する。

第4-(5)号様式

付表1-2 税率別消費税額計算表 兼 地方消費税の課税標準となる消費税額計算表
〔経過措置対象課税資産の譲渡等を含む課税期間用〕

一般

課 税 期 間		・	・	～	・	・	氏名又は名称	
区 分		税 率 3 % 適 用 分		税 率 4 % 適 用 分		税 率 6.3 % 適 用 分		旧 税 率 分 小 計 X
		A		B		C		(A+B+C)
課 税 標 準 額 ①		円 000		円 000		円 000	※付表1-1の①X欄へ	円 000
① 課税資産の譲渡等の対価の額 内 特定課税仕入れに係る支払対価の額 訳	① 1 2	※第二表の②欄 ※①-2欄は、 ※第二表の						
消 費 税 額 ②								
控除過大調整税額 ③		(付表2-2の)						
控除対象仕入税額 ④		(付表2-2の)						
返還等対価に係る税額 ⑤							※付表1-1の⑤X欄へ	
除 ⑤ 売上げの返還等の対価に係る税額 内 特定課税仕入れの返還等対価に係る税額 訳に係る税額 ⑥ 税 貸倒れに係る税額 ⑥	⑤ 1 2	※⑤-2欄注 ※⑤-2欄注					※付表1-1の⑤-1X欄へ	
額 控除税額小計 ⑦ (④+⑤+⑥)								
控除不足還付税額 ⑧ (⑦-②-③)			※⑪B欄へ		※⑪C欄へ		※付表1-1の⑧X欄へ	
差引税額 ⑨ (②+③-⑦)			※⑫B欄へ		※⑫C欄へ		※付表1-1の⑨X欄へ	
合計差引税額 ⑩ (⑨-⑧)								
標準方と消費する税額 の課税税額	控除不足還付税額 ⑪		(⑧B欄の金額)		(⑧C欄の金額)		※付表1-1の⑪X欄へ	
	差引税額 ⑫		(⑪B欄の金額)		(⑪C欄の金額)		※付表1-1の⑫X欄へ	
合計差引地方消費税の課税標準となる消費税額 (⑫-⑪)	⑬		※第二表の⑭欄へ		※第二表の⑮欄へ		※付表1-1の⑬X欄へ	
譲渡還付額 ⑭			(⑪B欄×25/100)		(⑪C欄×17/63)		※付表1-1の⑭X欄へ	
割納税額 ⑮			(⑪B欄×25/100)		(⑪C欄×17/63)		※付表1-1の⑮X欄へ	
合計差引譲渡割額 ⑯ (⑮-⑭)								

注意 1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。

2 旧税率が適用された取引がある場合は、当該付表を作成してから付表1-1を作成する。

第4-(9)号様式

付表1-3 税率別消費税額計算表 兼 地方消費税の課税標準となる消費税額計算表

一般

課 税 期 間		・ ・ ~ ・		氏名又は名称	
区 分		税 率 6.24 % 適 用 分		合 計 C	
		A	B	(A+B)	
課 税 標 準 額 ①		円 000	円 000	円 000	※第二表の①欄へ
① 課 税 資 産 の 謾 渡 等 の 対 価 の 額 ① 1		※第二表の⑤欄へ	※第二表の⑥欄へ	※第二表の⑦欄へ	
内 特 定 課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 ① 2		※①-2欄は、課			
消 費 税 額 ②		※第二表の⑨欄へ			
控 除 過 大 調 整 税 額 ③		(付表2-3の④)			
控 除 対 象 仕 入 税 額 ④		(付表2-3の⑥A欄の金額)	(付表2-3の⑥B欄の金額)		※第一表の④欄へ
返 還 等 対 価 の 額 ⑤					※第二表の⑮欄へ
⑤ 売 上 げ の 返 還 等 の 対 価 に 係 る 税 額 ⑤ 1					※第二表の⑯欄へ
内 特 定 課 税 仕 入 れ の 返 還 等 対 価 に 係 る 税 額 ⑤ 2		※⑤-2欄は、課税売上割合が95%未満。かつ、特定課税仕入れがある事業者のみ記載する。			※第二表の⑯欄へ
貸 倒 れ に 係 る 税 額 ⑥		※⑥のA欄、B欄は、貸倒れに係る売掛金等の額（税込額）の 6.24/108、7.8/110 相当額を記載していますか。 また、不課税又は非課税取引（金銭の貸付け等）に係る貸倒れについて控除の対象としていませんか。			
控 除 税 額 小 計 ⑦ (④+⑤+⑥)					
控 除 不 足 還 付 税 額 ⑧ (⑦-②-③)					※第一表の⑧欄へ
差 引 税 額 ⑨ (②+③-⑦)					※第一表の⑨欄へ
地 準 方 と 消 費 な る 税 の 溝 通 し て お こ り た 税 額 ⑩ (⑧)					※第一表の⑩欄へ ※マイナス「-」を付して第二表の⑩及び⑪欄へ
差 引 税 額 ⑪ (⑨)					※第一表の⑪欄へ ※第二表の⑩及び⑪欄へ
譲 渡 還 付 額 ⑫					(⑩C欄×22/78) ※第一表の⑫欄へ
納 税 額 ⑬					(⑪C欄×22/78) ※第一表の⑬欄へ

注意 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。

(R5.10.1以後終了課税期間用)

第4-(2)号様式

付表2-1 課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表
〔経過措置対象課税資産の譲渡等を含む課税期間用〕

一般

課 税 期 間	・ · ~ · ·	氏 名 又 は 名 称			
項 目	X	税 率 分 小 計	税率 6.24 % 適用 分 D	税率 7.8 % 適用 分 E	合 計 F (X+D+E)
課 税 売 上 額 (税 抵 き) ①					
免 税 売 上 額 ②					
非 課 税 資 産 の 輸 出 等 の 金 額 、 価 額 ③					
課 税 資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (① + ② + ③) ④					
課 税 資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (④ の 金 額) ⑤					
非 課 税 売 上 額 ⑥					
資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (⑤ - ⑥) ⑦					
課 税 売 上 割 合 (④ / ⑦) ⑧					
課 税 仕 入 に 係 る 支 払 対 価 の 額 (税 込み) ⑨					
課 税 仕 入 に 係 る 消 費 税 額 ⑩					
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る経過措置の適用を受ける課税仕入れに係る支払対価の額(税込み) ⑪					
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る消費税額(みなされる額) ⑫					
特 定 課 税 仕 入 に 係 る 支 払 対 価 の 額 ⑬					
特 定 課 税 仕 入 に 係 る 消 費 税 額 ⑭					
課 税 貨 物 に 係 る 消 費 税 額 ⑮					
納 税 義 务 の 免 除 を 受 け な い (受 け る) こと と な つた場 合 に お け る 消 費 税 額 の 調 整 (加 算 又 は 減 算) ⑯					
課 税 仕 入 に 係 る 税 額 の 合 計 額 (⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯) ⑰					
課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 下 、 か つ 、 課 税 売 上 割 合 が 95 % 以 上 の 場 合 ⑯					
課 税 5 課 税 例 題 上 高 が 5 億 円 以 上 の 場 合 ⑯					
【No.48】申告書第一表①欄の金額は、①のD欄、E欄(X欄に金額がある場合、付表2-2の各欄)の金額のそれぞれ1,000円未満切捨て後の金額の合計額と一致していますか(申告書第一表⑤欄又は付表2-1⑬の各欄に記載がある場合、返還等対価の額に相当する金額又は特定課税仕入れに係る支払対価の額が加算されていますか。)。					
【(⑯、⑯又は⑯の金額)±(⑯±⑯)±(⑯)】がマイナスの時					
貸 倒 回 収 に 係 る 消 費 税 額 ⑯					

1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。

2 旧税率が適用された取引がある場合は、付表2-2を作成してから当該付表を作成する。

3 ⑤、⑯及び⑯欄には、値引き、削戻し、割引きなど仕入対価の返還等の金額がある場合(仕入対価の返還等の金額を仕入金額から直接減額している場合を除く。)には、その金額を扣除した後の金額を記載する。

4 ⑯及び⑯欄の差違措置とは、所得税法等一部を改正する法律(平成28年法律第15号)附則第52条又は第53条の適用がある場合をいいます。

第4-(6)号様式

付表2-2

課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表
〔経過措置対象課税資産の譲渡等を含む課税期間用〕

一般

課 税 期 間	・	・	・	氏名又は名称	
項 目	A	B	C	旧税率分小計X (A+B+C)	
課 税 売 上 額 (税 抵 き) ①					
免 税 売 上 額 ②					
非 課 税 資 産 の 輸 出 等 の 金 額 、 海 外 支 店 等 へ 移 送 し た 資 産 の 価 額 ③					
課 税 資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (① + ② + ③) ④					
課 税 資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (④ の 金 額) ⑤					
非 課 税 売 上 額 ⑥					
資 産 の 譲 渡 等 の 対 価 の 額 (⑤ + ⑥) ⑦					
課 税 売 上 割 合 (④ / ⑦) ⑧					
課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 (税 込み) ⑨					
課 税 仕 入 れ に 係 る 消 費 税 額 ⑩					
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る 経過措置の適用を受ける課税仕入れに係る支払対価の額(税込み) ⑪					
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る 経過措置により課税仕入れに係る消費税額とみなされる額 ⑫					
特 定 課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 ⑬					
特 定 課 税 仕 入 れ に 係 る 消 費 税 額 ⑭					
課 税 貨 物 に 係 る 消 費 税 額 ⑮					
納 税 義 務 の 免 除 を 受 け な い (受 け る) こ と と な つ た 场 合 に お け る 消 費 税 額 ⑯					
の 調 整 (加 算 又 は 減 算) ⑰					
課 税 仕 入 れ 等 の 税 額 の 合 計 額 (⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯ + ⑰) ⑯					
課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 下 、 か つ 、 課 税 売 上 割 合 が 95 % 以 上 の 場 合 ⑯					
課 5 課95 税 億 % 税 未 売 未 上 満 上 超 高 又 合 場 が は が 合 控 の 除 調 除 調 税 額 整 差 引 貨 倒 回 収 に 係 る 消 費 税 額	⑯のうち、課税売上げにのみ要するもの ⑯				
	⑯のうち、課税売上げと非課税売上げに 共 通 し て 要 す る も の ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ
	個 別 対 応 方 式 に よ り 控 除 す る 課 税 仕 入 れ 等 の 税 額 [(⑯ + ⑯) × ④ / ⑦)] ⑯				
	一括比例配分方式により控除する課税仕入れ 等の税額 (⑯ × ④ / ⑦) ⑯				
	課税売上割合変動時の調整対象固定資産に係る 消 費 税 額 の 調 整 (加 算 又 は 減 算) ⑯				
	調整対象固定資産を課税業務用(非課税業務用) に転用した場合の調整(加算又は減算)額 ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ
	居 住 用 貨 貸 建 物 を 課 税 貨 貸 用 に 供 し た (譲 渡 し た) 場 合 の 加 算 額 ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ
	控 除 对 象 仕 入 税 額 [(⑯ 、 ⑯ 又 は ⑯ の 金 額) ± ⑯ ± ⑯ + ⑯] ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ
	控 除 過 大 調 整 税 額 [(⑯ 、 ⑯ 又 は ⑯ の 金 額) ± ⑯ ± ⑯ + ⑯] ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ
	貸 倒 回 収 に 係 る 消 費 税 額 ⑯				※付表2-1の⑯X欄へ

注意 1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。

2 旧税率が適用された取引がある場合は、当該付表を作成してから付表2-1を作成する。

3 ④、⑦及び⑯のX欄は、付表2-1の④欄を計算した後記載する。

4 ⑤、⑥及び⑯には、値引き、割戻し、割引きなど仕入代の返還等の金額がある場合は(仕入代の返還等の金額を仕入額から直接減額している場合を除く。)には、その金額を控除した後の金額を記載する。

5 ⑦及び⑯の経過措置とは、所得税法等の一部を改正する法律(平成28年法律第15号)附則第52条又は第53条の適用がある場合をいふ。

(RS.10.1以後終了課税期間用)

【No.52】令和5年10月1日以後に行った課税資産の譲渡等に係る課税標準額に対する消費税額(売上税額)について、付表1-2②のA欄、B欄、C欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法(積上げ計算)により計算している場合、同日以後に行った課税仕入れに係る消費税額(仕入税額)について、⑩のA欄、B欄、C欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法(割戻し計算)により計算していませんか。

【No.53】令和5年10月1日以後に行った課税仕入れに係る消費税額(仕入税額)について、⑩のA欄、B欄、C欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法(積上げ計算)により計算している場合、適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る税額控除に関する経過措置の適用を受ける仕入税額について、⑫のA欄、B欄、C欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法(割戻し計算)により計算していませんか。

【No.54】課税売上高が5億円超又は課税売上割合が95%未満であるにもかかわらず、課税仕入れに係る消費税額を全額控除していませんか。

第4-(10)号様式

付表2-3 課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表

一般

課 税 期 間	・	・	・	・	氏名又は名称		
項 目		税 率 6.24 % 適 用 分 A	税 率 7.8 % 適 用 分 B	合 計 C (A+B)			
課 税 売 上 額 (税 払 き) ①							
免 税 売 上 額 ②							
非 課 税 資 産 の 輸 出 等 の 金 額 、 海 外 支 店 等 へ 移 送 し た 資 産 の 価 額 ③							
課 税 資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (① + ② + ③) ④							
課 税 資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (④ の 金 額) ⑤							
非 課 税 売 上 額 ⑥							
資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (⑤ + ⑥) ⑦							
課 税 売 上 割 合 (④ ÷ ⑦) ⑧							
課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 (税 込み) ⑨							
課 税 仕 入 れ に 係 る 消 費 税 額 ⑩							
適 格 請 求 書 発 行 事 業 者 以 外 の 者 か ら 行 っ た 課 税 仕 入 れ に 係 る 経 過 措 置 の 適 用 を 受 け る 課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 (税 込み) ⑪							
適 格 請 求 書 発 行 事 業 者 以 外 の 者 か ら 行 っ た 課 税 仕 入 れ に 係 る 消 費 税 額 と な さ れ る 部 ⑫							
特 定 課 税 仕 入 れ に 係 る 支 払 対 価 の 額 ⑬							
特 定 課 税 仕 入 れ に 係 る 消 費 税 額 ⑭							
課 税 貨 物 に 係 る 消 費 税 額 ⑮							
納 税 義 务 の 免 除 を 受 け な い (受 け る) こ と と な つ た 場 合 に お け る 消 費 税 額 の 調 整 (加 算 又 は 減 算) ⑯							
課 税 仕 入 れ 等 の 税 額 の 合 計 額 (⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯) ⑰							
課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 下 、 か つ 、 課 税 売 上 割 合 が 95 % 以 上 の 場 合 (⑮ の 金 額) ⑲							
課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 上 、 か つ 、 課 税 売 上 割 合 が 95 % 未 滿 の 場 合 (⑰ の 金 額) ⑳							
引 控 除 過 大 調 整 税 額 [(⑲、⑳ 又 は ⑯ の 金 額) 土 ⑳ 土 ⑲+⑳] が マイナス の 時							
貸 倒 回 取 に 係 る 消 費 税 額 ㉑							

【No.48】申告書第一表①欄の金額は、①のA欄、B欄の金額のそれぞれ1,000円未満切捨て後の金額の合計額と一致していますか(申告書第一表⑤欄又は付表2-3⑬の各欄に記載がある場合、返還等対価の額に相当する金額又は特定課税仕入れに係る支払対価の額が加算されていますか。)。

【No.49】本店等との間の内部取引は資産の譲渡等に含まれないにもかかわらず、その対価の額を②C欄に含めていませんか。

【No.50】非居住者から受け取る利子等(他の外国法人に対する貸付金や外国債券から生じる利子等)の額がある場合、その金額を③C欄に記載していますか。

【No.51】⑥C欄の金額には、次の金額を含めていますか。
(1) 有価証券の譲渡対価の5%相当額
(2) 土地等の譲渡対価の金額
(3) 受取利子の金額
(4) 集団投資信託の収益の分配金
(5) 従業員から受け取る社宅家賃等

【No.52】令和5年10月1日以後に行った課税資産の譲渡等に係る課税標準額に対する消費税額(売上税額)について、付表1-3②のA欄、B欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法(積上げ計算)により計算している場合、同日以後に行った課税仕入れに係る消費税額(仕入税額)について、⑩のA欄、B欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法(割戻し計算)により計算していませんか。

【No.53】令和5年10月1日以後に行った課税仕入れに係る消費税額(仕入税額)について、⑩のA欄、B欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法(積上げ計算)により計算している場合、適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る税額控除に関する経過措置の適用を受ける仕入税額について、⑫のA欄、B欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法(割戻し計算)により計算していませんか。

【No.54】課税売上高が5億円超又は課税売上割合が95%未満であるにもかかわらず、課税仕入れに係る消費税額を全額控除していませんか。

注意

- 1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。
- 2 ⑪、⑫及び⑯には、値引き、割戻し、割引きなど仕入対価の返還等の金額がある場合(仕入対価の返還等の金額を仕入金額から直接減額している場合を除く。)には、その金額を控除した後の金額を記載する。
- 3 ⑪及び⑯の経過措置とは、所得税法等の一部を改正する法律(平成28年法律第15号)附則第52条又は第53条の適用がある場合をいい。